社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和04年01月18日

計画の名称	福岡県魅力の創出と地域活性化の拠点となる公園づくり事業												
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	福岡県												
計画の目標	福岡県においては、１人あたりの都市公園面積が目標である１０㎡に到っておらず、特に筑後広域生活圏は県内の生活圏の中でも県民１人あたりの都市公園面積が最も少ない状況にある。そのため、筑後広域生活圏において、新たな観光地となるとともにスポーツ振興の拠点となる都市公園の整備を行う。また、既設の都市公園においては施設の老朽化や公園内の見通し不良などにより、公園の持つポテンシャルを充分に活かしきれていない現状である。そこで、賑わいの場となる公園施設の整備や民間活力の導入により、既存都市公園の再整備を行う。それらの都市公園の整備（再整備）によって、多くの方が安全で快適に利用でき県民の憩いの場となり、魅力ある都市公園づくりを目指す。さらに、緑豊かな都市環境の形成や魅力ある地域づくりに寄与する都市公園を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	5,830	Ａ	5,830	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		Ｒ４当初	Ｒ６末	Ｒ８末
1	公園利用者数（筑後広域公園、西公園、大濠公園、筑豊緑地）を３１３万人／年（Ｒ２）から４５７万人／年（Ｒ８）に増やす。			
	公園利用者数 有料施設利用実績や公園利用実態調査等で測定する。	295万人／年	366万人／年	436万人／年
2	県民意識調査（インフラ・社会基盤整備）において、力を入れてほしい施策「県民憩いの場となる都市公園、自然公園の整備・充実」の比率を２４．８％（Ｒ２）から２１．７％（Ｒ８）に減らす。			
	県民意識調査（インフラ・社会基盤整備）において、力を入れてほしい施策「県民憩いの場となる都市公園、自然公園の整備・充実」の比率 県民意識調査で測定する。	24%	22%	21%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000695119

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	福岡県	直接	福岡県	－	－	都市公園事業（筑後広域公園）	公園整備　119.6ha	筑後市、みやま市	■	■	■	■	■	2,310	2.12	－
	A12-002	公園	一般	福岡県	直接	福岡県	－	－	都市公園事業（西公園）	公園再整備　17.0ha	福岡市	■	■	■	■	■	1,620		－
	A12-003	公園	一般	福岡県	直接	福岡県	－	－	都市公園事業（大濠公園）	公園再整備　39.8ha	福岡市	■	■	■	■	■	700		－
	A12-004	公園	一般	福岡県	直接	福岡県	－	－	都市公園事業（筑豊緑地）	公園再整備　50.8ha	福岡県		■	■	■	■	1,200		－
											小計						5,830		
											合計						5,830		

案件番号： 0000695119

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R04	R05	R06		
配分額（a）	471	420	444		
計画別流用増△減額（b）	0	0	0		
交付額（c=a+b）	471	420	444		
前年度からの繰越額（d）	0	347	294		
支払済額（e）	124	473	562		
翌年度繰越額（f）	347	294	176		
うち未契約繰越額(g)	255	46	68		
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d)）%	54.14	5.99	9.21		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地補償、遅延難航のため				

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

事前評価チェックシート

計画の名称： 福岡県魅力の創出と地域活性化の拠点となる公園づくり事業

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域課題と整備計画の目標の整合性）	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

案件番号：0000695119